



発行日

10月9日

発行者

川西 希佳
石黒 海結
小川 諒
木村 光汰

くりりんセンターに行ったよ!!

くりりんセンターのゴミの処理

くりりんセンターでは、4つのゴミの処理をしています。

- ①可燃ごみの処理
- ②大型ゴミの処理
- ③資源ごみの処理
- ④不燃ごみの処理



この4つのゴミの処理をくりりんセンターで行っているそうです。

①の可燃ごみの処理は、3つ目の欄に書いてるように、3つの焼却炉でもやし埋立地に運び、埋める作業があります。

②の大型ゴミの処理は、一番最後の欄に書いてるように、大型ゴミをプラットフォームに運び、約3日分の量を深さ約7メートルの場所にためます。その後破砕機で碎き、埋め立てる場合があります。大型ゴミの処理は、もう一つの方法があります。もう一つの方法とは、修理したり改造したりして、リサイクルして使う場合もあるそうです。

③の資源ごみの処理は、ペットボトル↓さいだん↓フレック↓更に碎く↓ペレット↓服、綿などになりリサイクルされるという順番で処理されています。

④の不燃ごみの処理は、大型ゴミの処理と同じで破砕機で碎き、埋め立てる。の順番で処理されています。

【ロータリー式ステージ】

くりりんセンターは、ロータリー方式のゴミ搬入ステージがあります。ゴミの種類別ごとにゴミをおろします。くりりんセンターの自己搬入する場合と、地域のゴミ収集に出す場合では、分別方法など異なる点があります。

くりりんセンターで働いている人について



くりりんセンターは、七十五人もの人が働いています。くりりんセンターで働いている人の仕事は、一つ目に「分別作業」があります。なぜ分別されたゴミをまた分別するのかというと、例えばペットボトルだとラベルが付いていたりキャップがそのままだったりします。ペットボトルはラベルがついたままだとリサイクルができません。そのため、一つ一つラベルキャップを外す必要があります。二つ目は、「機械の操作」です。私は、くりりんセンターに行く前は、全部自動でやっていたんだと思っていましたが、それとは違い、中央制御室という場所で、機械を操作しているそうです。中央制御室だけではなく、プラットフォームのクレーンを操作する部屋で仕事をしている人もいます。



↑左中央操作室
右クレーン操作室



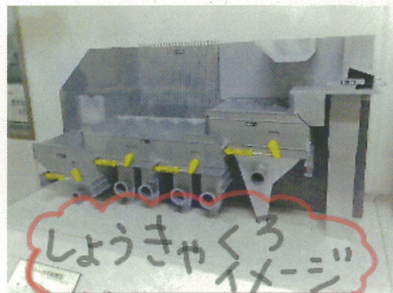
大型ゴミ不燃ごみ
処理施設設計図



大型ゴミ

◇学校のごみ処理について

学校のごみは、みんなが帰ったあとに回収しています。中身を確認して外にある小屋に入れておきます。週に1回、回収しに来ます。ごみの回収で大変なときは、進級するときです。理由は、大掃除をしたりしてごみがたくさん出て、ごみの回収が大変になるからです。私達がごみを捨てるときに、ごみの入れ間違えがありすぎると学校のごみを回収する人が仕分けるのが大変になってしまうから、ごみの分別はしっかりしたいと思いました。



しょうきゃくろ
イメージ

燃えるゴミの処理について

燃えるゴミに
ついていてちがう



くりりんセンターには、焼却炉が三台あって、九百度前後の熱でゴミを燃やしています。高い温度の熱で燃やすことでおいを分解することができま。焼却炉に入れた全部のゴミを燃やすのに二時間くらいかかります。ゴミを燃やしているときの熱は、発電したり、くりりんセンターの機械を動かしたりするのに使っています。ゴミを燃やしたあとの灰は、埋立地へ運ばれます。

大型ゴミの処理

くりりんセンターの大型ゴミは、機械で小さくして、「リサイクルにできるゴミ」「燃やしても良いゴミ」に分けられています。はさい機でゴミを小さくします。回転せんべつきで、「燃えるゴミ」「燃えないゴミ」「ゆうがいゴミ」「アルミ」「ビン」の5つに分けられます。鉄などになるゴミは、違うところに運ばれます。誰が運んで来たのかわかるようになっていきます。大型ゴミの場所は、つくえ・いす・テレビなどの日常で使うものが運ばれてきます。浦幌の大型ゴミも運ばれていました。大型ゴミの処理も、「大変だな。」と、思いました。

川西 希佳

くりりんセンターを見学して燃やせるゴミの処理、焼却炉のしくみ、リサイクルについて、ゴミを処理する方法がわかりました。私が知らなかった機械がたくさんあって、びっくりしました。これからは、ゴミを捨てるときにしっかりと分別をしたいと思います。

石黒 海結

くりりんセンターに行って、ごみ処理の大変さとゴミを処理するときの方法がわかりました。今まで知らなかった、機械や方法が知れました。これからは、ごみの分別をしたり、なるべくゴミを最小限に抑えたりして、いつもの生活でも心がけたいと思いました。

小川 諒

くりりんセンターを見学して、くりりんセンターの仕事の大変さをわかりました。燃えるゴミの処理は、ゴミビットでまぜて燃ややすくします。それは、24時間交代交代で仕事をしていて、「町守ってくれてありがとう。」と思いました。ゴミをすぐに捨てず、リサイクルできる物はリサイクルしたいと思いました。

木村 光汰

くりりんセンターに行って、ゴミが汚れてる物や燃えないゴミが混ざっているとくりりんセンターは大変な事があることがわかりました。これからは、ゴミの分別を忘れないようにします。